

## 第15回福島問題研究会議事録（ダイジェスト版）

平成28年6月27日

- 1 会議名：第15回福島問題研究会
- 2 日時：平成28年6月17日（金） 14:00～17:30 @化学工学会応接室
- 3 出席者：小林、橋本、鈴木、中尾、松井、横堀（敬称略）

### （1）連絡・報告事項

- 1) 化学工学会福島原発事故対策検討委員会について（2016.5.27 小林）
- 2) 第9回福島原発事故対策検討委員会（小林メモ）
  - ・原子力学会主催の第10回「福島原子力発電所廃炉委員会」（2016.05.18）の報告等
- 3) 関連機関主催のシンポジウム等への参加報告：（横堀）
  - ①1F見学：5/23 日本技術士会の防災委員会／原子力放射線部会主催の見学会に参加。
  - ②セミナー参加：5/26 に吉澤厚文氏（元1Fユニット所長）の講演を聴取（東工大蔵前会館）
  - ③JAEA 東海（核燃料サイクル工学研究所）見学会：6/14 日本技術士会埼玉県支部の見学会に参加

### （2）調査報告会（各自が調査・検討した結果を持寄り、発表の上、意見交換を行う）

#### 1) 原子力発電のコスト(特に安全対策費) (中尾)

- \* 総合資源エネルギー調査会の発電コスト検証WGがまとめた資料(平成27年4月)を分析し報告。  
報告内容：発電方式別コスト（円/kWh）、原子力発電の内訳など  
→意見交換（コメントなど）：前提条件で試算結果は変わるので、注意が必要

#### 2) 汚染水問題の解決に向けて（横堀）

- \* 燃料デブリ冷却の為に循環冷却水の必要性について考察し、抜本解決に向けた糸口を探る。

報告内容：①現時点の発熱量を推定、②循環冷却水の水温上昇、③原子炉建屋の水位、  
④ 格納容器内水位

結論として；燃料デブリが全て水に浸かっている、余り大きな塊になっていないならば、水の自然対流冷却と格納容器表面からの空気の自然循環除熱の可能性はある

→意見交換(コメントなど)：

- ・ 燃料デブリ内の疎密性や大きな塊による内部除熱の困難さなど詳細な検討が必要
- ・ 水を掛けながら乾式取り出しをするという折衷案もあるのかもしれない。
- ・ 本検討内容を少し整理して、「やぶにらみコーナー」で発信してみてもどうか。

### （3）その他

- ・ 次回は外部講師として JAEA 山本氏を招き、福島問題の現状について意見交換する。

日時：7月8日(金) 14:00～、化学工学会・会議室

以上

